

## 新潟県植物分布資料 (7)

石 沢 進・朱 雁

## 新潟県分布新記録

イワダレヒトツバ *Pyrrosia davidii* (Gies.) Ching [写真 1] ウラボシ科

新潟: 佐渡市外海府 (高千): 北見信男 [採取栽培] IS-416151 ('07 小林巳癸彦-Photo, IS-Photo OL070912-3・4・3703-22A)

小林巳癸彦氏が北見氏から譲り受けた栽培鉢を持参したことで、県内の分布確認に至った。本種の生育地の近くにはイワオモダカも生育しているとの報告を得ている。



写真1-1 全体 [小林巳癸彦氏撮影 '07 9]



写真1-2 葉裏 ['07 9/12]

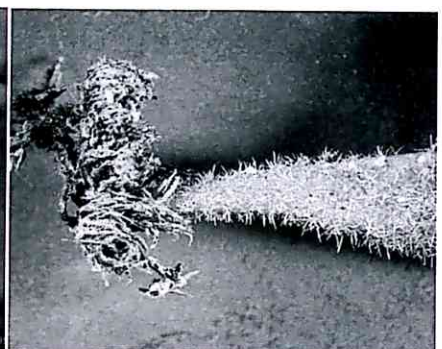
写真1-3 葉柄基部と根茎  
(×7で撮影) ['07 9/12]

写真1 イワダレヒトツバ

ホソバイヌタデ *Persicaria erectominor* (Makino) Nakai var. *trigonocarpa* (Makino) H.Hara タデ科

新潟: 南蒲原郡中之島町与板橋付近: 千葉道徳 信濃川-297 ('07 IS-418151)

本種に関する分布記録は、本誌33頁に掲載。

シロバナクス *Pueraria lobata* (Willd.) Ohwi form. *leucostachys* (Honda) Okuyama [写真 2] マメ科

新潟: 佐渡市高千 35m: 中川清太郎 (2007)



写真 2 シロバナクス (中川清太郎撮影)

写真 3-1 ホラシノブ ×7  
胞子囊 ('07 12/17)写真 3-2 ホラシノブ ×20  
胞子囊 拡大 ('07 12/17)

## 新潟県分布追加記録

カニクサ *Lygodium japonicum* (Thunb.) Sw. フサシダ科

新潟: 新潟市松波町 (海岸松林) 10m: 登坂裕一 ('07 IS-Photo OL071222-1~3) 本誌16・17頁に掲載。

ホラシノブ *Sphenomeris chinensis* (L.) Maxon [写真 3] ホングウシダ科

新潟: 佐渡市小木弁天崎 7m: 中川清太郎 ('07 IS-417959, Photo OL071217-57・58・60・63~73, 3717-0A~7A)



コモチシダ *Woodwardia orientalis* Sw. [写真 4] シシガシラ科

新潟:佐渡市小木弁天崎 7m: 中川清太郎 ('07 IS-417953-417955, Photo OL071217-52-53, OL071217-6~9, 3717-8A~12A)

佐渡だけに分布する暖温帯の植物で、これまで小木町宿根木の分布が記録されている(牧野 2000)。

ホラシノブ・コモチシダについては、本誌34・35頁に掲載。

ツヤナシイノデ *Polystichum fibrilloso-paleaceum* (Kodama) Tagawa [写真 5] オシダ科

新潟:新発田市車野原(出鼻先山南) 50m: IS-417741 ('07 Photo OL071104-3~8-3911-0A~4A) [新発田 5639-63-62]

新潟県における分布は、西蒲原郡弥彦村弥彦と東蒲原郡鹿瀬町向鹿瀬赤崎山の2ヶ所の記録があるだけである(牧野 2000)。



写真 4-1 コモチシダ (全体) [07 12/17]



写真 5-1 葉下部 ('07 11/3)



写真 5-2 葉上部 ('07 11/3)



写真 4-2 コモチシダ ×7  
胞子嚢拡大 ('07 12/17)



写真 5-3 葉身基部鱗片 ('07 11/3)

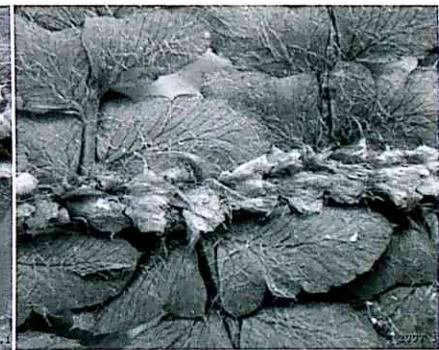


写真 5-4 葉身中部鱗片 ('07 11/3)

写真 5 ツヤナシイノデ

マネキグサ *Lamium ambiguum* (Makino) Ohwi シソ科

新潟:魚沼市小出西山 : 富永 弘 ('07 Photo)

環境庁(2000)のRDBでは、絶滅危惧Ⅱ類(VU)にランクされており、県内では、北見(1963)がドンデン、佐和田町乙和池に分布を記録している。しかし、その後生育を確認していない。

上記県内における分布情報に加えて、本年報では、県内各地からの資料提供をいただいている。それぞれ別項で掲載しているが、主な種は次のようである。

○新潟県におけるシダ植物の分布追加:イノデモドキ,ヌリワラビ,メニッコウシダ,イワシロイノデ,サイゴクイノデ,シロウマイタチシダなど(18~20頁に掲載)

○魚沼市小出地域の植物:上記マネキグサに加えて,ヤマアイ,ユキグニカンアオイが同市内に分布していることを報告している(24~27頁に掲載)。

○佐渡島におけるシダ植物の分布追加： コモチシダ、ホシダ、オオキヨスミシダ、イワヤシダ、ウスヒメワラビなど  
(34・35頁に掲載)

○佐渡島における漂着植物： ハマナタマメ (ナタマメ)、グンバイヒルガオ、ヨウサイ (28~31頁に掲載)

## 文献

環境庁編 (2000) 改訂・日本の絶滅のおそれのあるレッドデータブック 野生生物 植物 I

北見 秀夫 (1963) 佐渡の植物 佐渡博物館研究報告第5集

本間建一郎 (2002) 佐渡島の植物 (羊歯・種子植物) 新潟県植物分布調査記録 5, 新津植物資料室 (引用掲載)

中川清太郎 (2007) クズの白花 新潟県植物保護 42:14.

牧野 恭次 (2000) 新潟県の羊歯植物誌 :334.

### 新津丘陵にける植物の畸形 (1) ジュウモンジシダの葉身の異常

植物には、本来の形と異なる畸形になることがしばしば見られる。新津丘陵で観察した植物の畸形現象について記録に留め、参考に資したい。

ここでは、ジュウモンジシダ *Polystichum triperon* (Kunze) Presl (オシダ科) の葉の形態変異について記述する。ジュウモンジシダは、葉身は一回羽状に分裂し、最下羽片だけが特別大きく、さらに羽状に分裂することで知られている。一見して葉が十字形となり、三出羽片状に見えるので、名の由来となっている。

ところが、葉身上部の主軸が、ねじれたり、羽片の配列が不規則になったり、また、先が二股に分岐する場合も見られ、一株全体の葉がほぼ同じ位置で異常を起こしている。何らかの物理的な作用により起きた一時的な畸形とも見られる。しかし、二股になっている葉では、規則的分岐しているようでもあり、今後の観察が必要である (下記の写真参照)。

(石沢 進)

